

令和5年度シラバス

作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅳ		演習	岡田 誠暁	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
<p>評価実習・長期実習を見据え、実際の患者を想定した状況で検査や面接の課題に取り組み、実践能力の向上を目指す。検査や面接技法に併せて、臨床に望ましい身なりや態度、マナーについての習得状況も確認する。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 臨床実習生として相応しい身なりと態度で模擬患者に接し、良好な関係を構築することができる。 2. 模擬患者に対して適切な動作の誘導・介助、評価を実施することができ、得られた結果を報告することができる。 3. 臨床技能や対象者への接遇などの自己の問題点を認識し、それに対する改善策を述べるができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	観察実習から見えた課題の整理と問題解決方法 実習発表 (目標シート作成)			
2	オリエンテーション			
3	課題内容に基づいた実技演習①			
4	課題内容に基づいた実技演習②			
5	課題内容に基づいた実技演習③			
6	課題内容に基づいた実技演習④			
7	課題内容に基づいた実技演習⑤			
8	課題内容に基づいた実技演習⑥			
9	課題内容に基づいた実技演習⑦			
10	臨床技能試験 (OSCE)			
11	評価者からの学生全体に向けた課題遂行に関するフィードバック			
12	各自が取り組めた点、および、修正すべき点の振り返り			
13	評価実習対策① 観察実習課題の振り返り			
14	評価実習対策② 観察実習課題の振り返り			
15	まとめ ポートフォリオ面談			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	100%	臨床技能試験(70%)、ポートフォリオ面接(30%)によって評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
「PT・OT のための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編」	才藤栄一		金原出版	
「PT・OT のための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編」	才藤栄一		金原出版	
自由記載				
備考				
<p>臨床技能試験については、学期途中での試験となる。尚、1回目の試験で不合格となった場合、後期末試験開始日までの間で、複数回受けなおす機会を設ける。期間内で臨床技能試験を合格することが評価実習に行くことができる条件となる。</p>				